

消防団のQ&A

Q 消防団とは何ですか？

A 消防団は、消防本部・消防署と同様に市町村の消防機関です。「自らの地域は自らで守る」という精神に基づき、普段は様々な仕事に就いている住民が非常勤特別職の地方公務員として災害などに対応します。



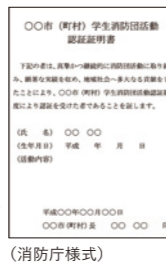
Q 学生でも入団できますか？

A 可能です。実際に、全国で約4,000人の学生消防団員が活躍しています。

学生消防団活動認証制度

「学生消防団活動認証制度」は、消防団員として活動した学生に対し、市町村長が「学生消防団活動認証証明書」を交付するものです。この証明書は就職活動の自己PRなどで活用できます。なお、本制度は大学や経済団体へ周知されています。

学生消防団活動認証証明書
(見本)



機能別消防団員・分団制度

より多くの方に参加いただくために、消防団には、機能別消防団員・分団という制度があります。それぞれの能力やメリットを活かしながら、特定の消防団活動や時間の許す範囲での活動ができます。

機能別団員 ● 火災予防・広報団員 ● OB団員

機能別分団 ● 大規模災害のみ活動する分団
● バイク隊 ● 音楽隊

消防団の主な待遇は？

多くの市町村で年額報酬(数万円程度)や災害活動または訓練に出動した際の出勤手当(1回あたり数千円程度)などが支給されます。また、以下のような待遇もあります。

公務災害補償 消防団活動中に負傷した場合の補償制度があります。	被服の貸与 消防団活動に必要な被服が貸与されます。
退職報償金 一定期間以上勤務して退団した際には、退職報償金が支給されます。	表彰制度 職務にあたって功労、功績があった場合には、表彰されます。

※上記制度内容および消防団員募集の手続きなどについては、各市町村ごとに定められていますので、居住地(または勤務地)の市役所・町村役場、または最寄りの消防署にお問い合わせください。

[お問い合わせ先]

Q 在学期間中だけの入団でもいいですか？

A 在学期間中だけの入団も可能です。なお、卒業後も消防団員として活躍している先輩たちがたくさんいます。

Q 待遇などはどうなっていますか？

A 市町村から数万円程度の年額報酬や出勤手当(概ね1回数千円程度)などが支給されます。また、一定期間以上勤務して退団した際の退職報償金支給、被服の貸与、公務災害補償などがあります。

入団するには

消防団に入団するには、まずはお問い合わせください。

1 探す

ホームページ上の消防団一覧から、お近くの消防団を探します。

2 問い合わせる

入りたい消防団の連絡先を調べ、電話・メールなどでお問い合わせください。

3 あなたも消防団員に！

お問い合わせ先の案内に従い、入団手続きが完了すれば、晴れて「入団」となります。

お近くの消防団を探してみよう！

あなたの街の消防団 検索

<http://www.fdma.go.jp/syobodan/search/>



放課後は
いってきます
街を守りに

あなたの想いが、この街を守るエネルギーになる。
消防団員募集

SYOBODAN



大学生と
消防団を
両立！

[大学生] 大谷 真代さん
京都市伏見消防団砂川分団

あなたの想いが、 この街を守るエネルギーになる。

》消防団 3つのポイント

ポイント
1

学校にいきながらでも
地域に貢献できる！

学生の消防団員は、
学校に通いながら、活動にも参加。
多くの団員が「両立」を実現しています。

ポイント
2

参加いただきやすい
さまざまな制度がある！

大規模災害のみ活動をする分団、
火災予防のために活動をする団員など、
特定の役割を選択して、参加も可能です。

ポイント
3

男性・女性・学生問わず
活躍の場がある！

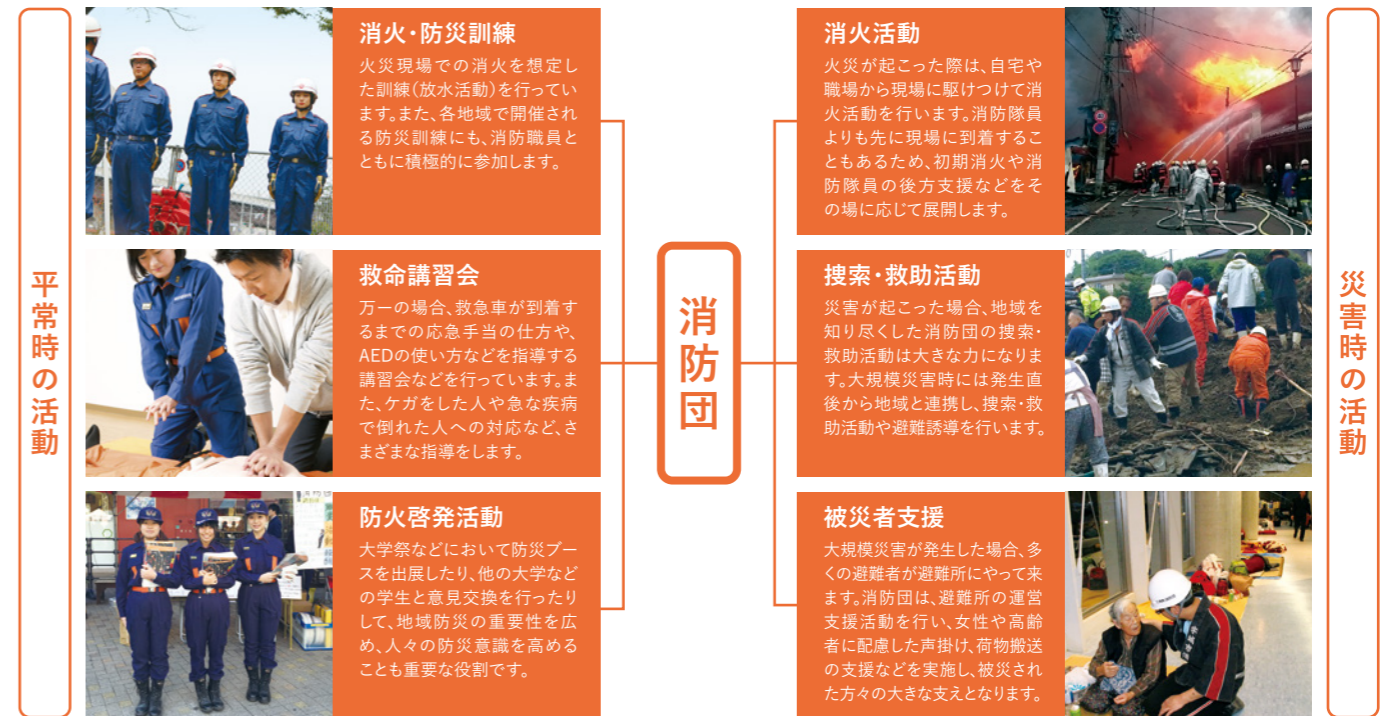
消火活動だけでなく、防火啓発活動や
救命講習会など、それぞれの能力や
技術を活かして活動できます。

》入団方法や制度の詳細は、リーフレット裏面をご覧ください

消防団の 活動

火災はいつ発生するかわかりません。また、応急手当はいつ必要になるかわかりません。だから、そのためのいろいろな準備をみんなできる限り行っています。

消防団は、消防組織法に基づき、全国の各市町村に設置される消防機関です。消防団員は、それぞれ自分の仕事をもちながら地域防災の担い手として、地域に密着して活動し、住民の安全と安心を守るという重要な役割をもっています。また近年は、女性や学生の消防団員が増加していて、火災予防や応急手当の普及啓発などにおいても活躍しています。



地域のために、自分にもできることがある。 責任を感じながら、楽しく活動しています。

[大学生] 大谷 真代さん 京都市伏見消防団砂川分団

入団する前、消防団員は消防士と同じ役割を担うものだと思っていました。しかし、実際は必ずしも体力を必要とする活動ではありません。主な活動は月に2回の夜回り。防災を呼びかけたり、火災が起こりうる危険な場所はないか地域を見て回ったりと、私でもできることばかりです。予定もある程度融通が利くので、学校や部活動、アルバイトと両立させながら、消防団の活動に参加しています。所属している消防分団の団員数は20名ほど。私以外にも学生がいたり、年の離れた大人の方がいたり、年齢層はさまざまです。みなさんとても話やすく、普段も世間話をして盛り上がりたりと、仲良くしていただいています。地域の方との交流もあり、責任を感じながら楽しく活動に取り組める環境です。

以前、管轄内で火災が発生し、初めて災害出

動したことがありました。現場に向かうまでの間は、どれくらいの規模の火災なのかかわからずハラハラ。私は交通整理を任せましたが、消防士の方が辺りを駆け回る様子を見て、「私にできることをやらなくては」と、消防団員としての意識が高まる経験となりました。

地域の方が平和に暮らしているだけでやりがいを感じられるのが、消防団の一番の魅力。社会人になっても、引き続きがんばりたいです。



地域への恩を、消防団で返したい。

[会社員] 大場 康平さん 広島市安佐北消防団口田分団

消防団の任務は消火活動に関わることをイメージしていたのですが、祭など地域の行事で交通整理や警備をすることも仕事だと知り、入団を決意しました。私を育ててくれた街の子もたちの、安全と思い出を守る力になりたいと思ったのです。現在は、「できることを、できると

きに」という姿勢で、仕事もプライベートも大切にしながら無理なく取り組んでいます。普段は広島市森林組合で、樹木の整備や森の測量に携わる仕事に従事。仕事では森を守り、消防団では街を守る。街への恩を返すつもりで、これからもがんばります。



消防団は、新しい自分に出会える場所。

[ソムリエ] 小口 めぐみさん 横浜市保土ヶ谷消防団第二分団

防災訓練や救命講習の運営に携わる中で、地域の方から「ありがとう」の言葉をもらえるのが励みになっています。入団前は男性が多く女性にできる仕事はあまりないのかもしれないと思っていましたが、実際には多くの女性団員が活躍していらっしゃいます。私は平日はレスト

ランでソムリエとして働いており、子育て中でもあるのですが、近い境遇の団員が多く所属しているのも、困ったときも相談しやすいです。地域のつながりを育む大きなやりがいがあり、自分自身も成長できる消防団での活動。今後も真剣に向き合っていきたいと思っています。

